

所となるためには、我々一人一人も亦夫々の分野で秀れた技術者になることが肝要と、今後も一層技術の向上に努力して行きたいと考えております。

丸鋸も併せてあと20日余となりました。小学校入学した子供の様な気持で最後までわからない点は講師に教つてしつかりやります。

皆様も御自愛専一にお過し下さい。 敬 具

5月14日

六ヶ月に亘つた目立並に製材技術の勉強も曲りなりにも落伍せず他の20名の生徒と一緒に昨日(31日)卒業、今日から清水市へ小丸の勉強に通い始めました。

普通の学校と異り、余りにも現実的と申しませうか、直ちにそのまゝ役立せなければならぬ目立技術と言う特殊な勉強であるため修了書を頂戴しても嬉しいとか希望とかとは幾分趣を異にした強いて申しますならば、非常に重い責任とそれを果さなければならぬ決意とがひしひしと胸に迫ってくるような気持で一杯です。こちらで得た技術は、僅か半年程度でもありほんの一部であつたことを忘れず再三のお便りで申し上げております通り、この度のものを基礎として今後大いに修業して行きたいと念じております。こちらへ参りますまでは、目立等というものは、単にテクニクだけで左程体力の要しないものと許り思つて居りましたが、やつてみて初めて可成りの力と更に絶えざる努力と申しませうか、いわゆる根気が特に必要であると言うことを痛感致しました。

小丸の方は、本日参りましたところ、先に申し上げた共同研究所の方は都合が悪く、其処から紹介していただき、普通の製函専門工場に参ることになりました期間も10日程度のため大きな期待は持てず、而も民間の会社のため特に研究しているような点もうかがえず、別に基礎的な事柄もうまく表現してもらえそうもありませんので、とにかく見習工になつたつもりで少しでも多くの事を勉強して帰りたいと存じております。

この間お送りしました帯鋸無事到着しましたでしょうか。講師の言われる通りに梱包したのですが、或はアサリが落ちたり歯先が曲つたりしているのではなか

ろうかと想像しています。25番の方は、歯底が少し浅いのではないかと存じますが。

今日、清水で、四工場程見学し、使用中の帯鋸を見て参りましたが、丁度ソ連材と北海道の風倒木を挽いておりましたが、大体20~21番、アサリが6~7厘位で杉以外の材を挽いているところでは、北海道と余り差が見受けられません、しかし、こちらの人に言わせると、北海道は、技術的に可成り劣つているような風潮で自動目立を行つていない点も可成り指摘されず手やヤスリ仕上げは、確かに仕事は早く能率的な面もありませうが、歯並みを常に揃え、挽肌を向上させるためには、こちらの人達の言う自動仕上げと言うことの方が当つているように感じます故、帰りましてからは、この点に関しても比較検討し、よりよい方法を研究普及して行きたいと思つております。

六月となりますと、そろそろ鈴蘭がりの季節ですね。毎年のように美瑛地方に鈴蘭狩りに出かけていたが、今年は残念乍ら間に合いそうもありません。北海道で最も居心地のよい時期と申しますと六月頃ではないでしょうか。野外に出掛けるにしても、スポーツを楽しむにしても六月と言う月が一番楽しい様な気がします。スポーツと申しますと先月比国対日本のデ杯東洋ゾーンの試合が行われましたが、指導所においても今度来られた会計課長も大いにやれる由、庭球はどうも中老組で相変らず優勢な気配にありますね、

半年間、毎度旭川の状況やら小生の無理のお願いの返事やら御忙しいにも拘らず、お便り下さいましてまことに有難う御座居ました。もうお便りを当地で拝見することもなからうと存じます。只今、こちらでの勉強の内容をとりまとめたいですが、帰りましてから又詳しく御報告申し上げることに致します。

こちらでは、夜になりますと蚊が大分出て参り、日暮時は、夕涼みでもしたいような季節になつて参りました。

あと三週間程で又皆様にお目にかかれるかと思うと毎日カレンダーが気になつてたまりません。ではそれまで、御元気にお過ごし下さい。皆様によろしく

敬 具

6月1日

目立養成所通信(5)

当初研究部製材研究室長北澤技師は12月1日より静岡県鋸目立養成所に入所幹部教育を受けているが、その通信が届きましたので茲に逐次登記致します。

五月中旬と言いますと、旭川辺りでも花見の季節、お便りによりますと20日が見頃との事でしたが、もうお出掛けにはなりましたでしょうか。例年この花見時には雨が多く折角の楽しみも半減してしまいます。今年はどんなでしたでしょうか。たまには晴天に恵まれて多くの人達を喜ばしてくれたらよいかと念じております。

只今、全員東京へ見学に参り小生一人昨日、今日と目立をやり大分のんびりと過しました。普段ですと機械より人数が多過ぎて思うように使用出来ませんが、こんな時は絶対のチャンスと自由に好きな事がロール機や目立機が使えるので非常に有意義に過すことが出来ました。明日は久し振りにフナでも釣りに出掛けようと考えています。そちらに居りましたら早速ウグイかフナを釣に 獲物は御存じの通り遠慮して少ないが 石狩川に出掛けるところですが、たまの休日は釣が小生は一番性に合っていて楽しいですが、苦心して釣っても見せる者(家では、長女が大変喜んでくれますが)もなければ自慢する相手も居ないのが淋しいです。

25Gの方を今日アサリ出して一度試験運転に使用又研磨して完成しようと思いましたが、たところ、アサリが2厘5毛位になってしまいました。当地のように、杉の2分3厘板でも挽くときですと肌さえよければ挽道まで入れて2分4.5厘にして結構通りますが、北海道のように速度も速く且つ、エゾ、トド、或は硬木等ですと可也難しいのではないかと存じます。こちらで上等の杉板の場合は、12尺×1.05~1.25尺×2.3分もので挽材時間30秒も要することがあり(普通15~20秒)それでも薄鋸を使用して曲げずに挽くことによって1尺の板子で4枚位は多くとれ、その板が、坪2,000円高級品ですと6,000円もするんだそうですから当然能率を度外視してもアサリの小さな薄鋸の効用が生ずるのだと思います。

25G或は26Gで気が付いた点ですが、斯る薄鋸ですと接合時間の長短によって硬度が著しく変化し、アツサブでは余り見受けられませんが、国産品では少し強くアサリを出すと、接合部は極度に曲って、まずいような結果になります。普通接合部は腰入れを加減したり(どうせ少し使用すれば変化するという理由で)アサリを出さないでおいたりするようですが、今申し上げたような高級板では歩止りに伴って挽肌が特に要求される時は接合部もアサリ出した方が良く思われ(或は反対に反って肌を悪くすることも考えられます)なるべく出すようにしていますが、24Gまでは大丈夫でしたが、25G以下ではどうもうまくいきません。

22G方は、ピッチを $1\frac{1}{8}$ インチに切って見ました。もっと大き目にしようと思いましたが、現在使用中の目立機は、一応1インチ、 $1\frac{1}{16}$ 、 $1\frac{1}{8}$ インチの三種に固定され(仕上げのとき歯型を崩すと調節に手間どるため)歯型と機械毎に定められ、勝手に動かすことは禁じられていますので、作りました鋸もそのような理由から多少北海道向きでない点もあろうかと存じますが、その点御諒承の程お願い申し上げます。

5インチ×22Gと4インチ×25G~26Gとでは、子供と大人の感じがします。殊に22Gの方は48インチ用ですし25Gの方は38インチ用なので、両方扱っていると22Gは重くて大変やっかいに思われてなりません。更に6~8インチの19~20Gとなれば想像するだけでくたびれてしまいそうです。

小型自動バンドの据付けは完了しましたでしょうか。来月早々こちらで作りました鋸も着くかと存じます、傷まずに行きましたら荷を解いて試験して見て下さい。

こちらはそろそろ麦の刈入が始まります。夜になりますとブーンと蚊が襲気して来るようになってまいりました。

公宅の周囲に、ニホヒヒバが植わった由殆ど樹木らしい樹木もない殺風景な指導所もやがては如何にも林業指導所の名に芳しい落ち付いたものとなることと存じます。風さいばかりでなく名実共に備わった立派な指導

所となるためには、我々一人一人も亦夫々の分野で秀れた技術者になることが肝要と、今後も一層技術の向上に努力して行きたい考えであります。

丸鋸も併せてあと 20 日余りとなりました。小学校入学した子供の様な気持ちで最後までわからない点は講師に教わってしっかりやります。

皆様も御自愛専一にお越し下さい。

敬具

5 月 14 日

六ヶ月に亘った目立並びに製材技術の勉強も曲りなりにも落伍せずにも他の 20 名の生徒と一緒に昨日 (31 日) 卒業、今日から清水市へ小丸の勉強に通い始めました。

普通の学校と異なり、余りにも現実的と申しましょ、直ちにそのまま役立たせなければならぬ目立技術と言う特殊な勉強であるため修了書を頂戴しても嬉しいとか希望とかとは幾分趣を異にした強いて申しますならば、非常に重い責任とそれを果さなければならぬ決意がひしひしと胸に迫ってくるような気持ちで一杯です。こちらで得た技術は、僅か半年程度でもありほんの一部であったことを忘れず再三のお便りで申し上げております通り、この度のものを基礎として今後大いに修業して行きたいと念じております。こちらへ参りますまでは、目立等というものは、単にテクニクだけで左程体力の要しないものとはばかり思っていました、やってみて初めて可也の力と更に絶えざる努力と申しましょ、いわゆる根気が特に必要であると言うことを痛感致しました。

小丸の方は、本日参りましたところ、先に申し上げた共同研究所の方は都合が悪く、其処から紹介していただき、普通の製函専門工場に参ることになりました。期間も 10 日程度のため大きな期待は持てず、而も民間の会社のため特に研究しているような点もうかがえず、別に基礎的な事柄もうまく表現してもらえそうもありませんので、とにかく見習工になったつもりで少しでも多くの事を勉強して帰りたいと存じております。

この間お送りしました帯鋸無事到着しましたでしょうか。講師の言われる通りに梱包したのですが、或はアサリが落ちたり歯先が曲ったりしているのではなからうかと想像しています。25 番の方は、歯底が少し浅いのではないかと存じますが。

今日、清水で、四工場程見学し、使用中の帯鋸を見て参りましたが、丁度ソ連材と北海道の風倒木を挽いておりましたが、大体 20~21 番、アサリが 6~7 厘位で杉以外の材を挽いているところでは、北海道と余り差が見受けられません、しかし、こちらに人に言わせると、北海道は、技術的に可也劣っているような風潮で自動目立を行っていない点も可也指摘されます。手やヤスリ仕上げは、確かに仕事は早く能率的な面もありましょ、歯並みを常に揃え、挽肌を向上させるためには、こちらの人達の言う自動仕上げと言うことの方が当たっているように感じます故、帰りましてからは、この点に関しても比較検討し、よりよい方法を研究普及して行きたいと思っております。

六月となりますと、そろそろ鈴蘭がりの季節ですね。毎年のように美瑛地方に鈴蘭狩りに出かけていりましたが、今年は残念乍ら間に合いそうにもありません。北海道で最も居心地のよい時期と申しますと六月頃ではないでしょうか。野外に出掛けるにしても、スポーツを楽しむにしても六月と言う月が一番楽しい様な気がします。スポーツと申しますと先月比国対日本のデ杯東洋ゾーンの試合が行われましたが、指導所においても今度来られた会計課長も大いにやれる由、庭球はどうも中老組で相変わらず優勢な気配にありますね。

半年間、毎度旭川の状況やら小生の無理のお願いの返事やら御忙しいにも拘らず、お便り下さいましてまことに有難う御座いました。もうお便りを当地で拝見することもなからうかと存じます。只今、こちらで勉強の内容を取りまとめたいですが、帰りましてから又詳しく御報告申し上げることに致します。

こちらでは、夜になりますと蚊が大分出て参り、日暮時は、夕涼みでもしたいような季節になって参りました。

あと三週間程で又皆様にお目にかかれるかと思うと毎日カレンダーが気になってたまりません。ではそれまで、御元気にお越し下さい。皆様によろしく

敬具

6 月 1 日